

唐松 カラマツ

- 1.産地 植栽林は長野県・関東北部・東北地方・北海道に多く、長野県では県下全域に広く分布している。
- 2.色調 辺材は白色、心材は褐色。
- 3.用途 壁板、床板に使われることが多い。また、強度が非常に強いいため梁桁材としても使われている。
- 4.備考 耐朽性／中



檜 ヒノキ

- 1.産地 日本特産で造林樹種としては、スギに次ぐものである。長野県では中信以南の木曾谷、伊那谷にかけて多く生育している。
- 2.色調 辺心材の境がはっきりしないことが多い。辺材は淡黄白色、心材は淡黄褐色～淡紅色。
- 3.用途 建築材、建具材、造作材、桶材等
- 4.備考 耐朽性／大、特有の芳香と光沢あり



杉 スギ

- 1.産地 日本特産で、造林樹種として随一である。長野県内においても広く造林されており、千曲川下流地域と伊那谷地域に多い。
- 2.色調 辺心材の境は明らか。辺材は白色、心材は淡紅色～暗赤褐色。
- 3.用途 梁桁材、壁板、フローリング、建具材、天井材等
- 4.備考 耐朽性／中



赤松 アカマツ

- 1.産地 東信、中南信にかけて多く生育し、県内ではカラマツに次いで面積の多い樹種。
- 2.色調 辺材は白色、心材はピンクがかった赤みがあります。
- 3.用途 梁桁材、フローリング、建具材、天井材、磨丸太材等
- 4.備考 耐朽性／小



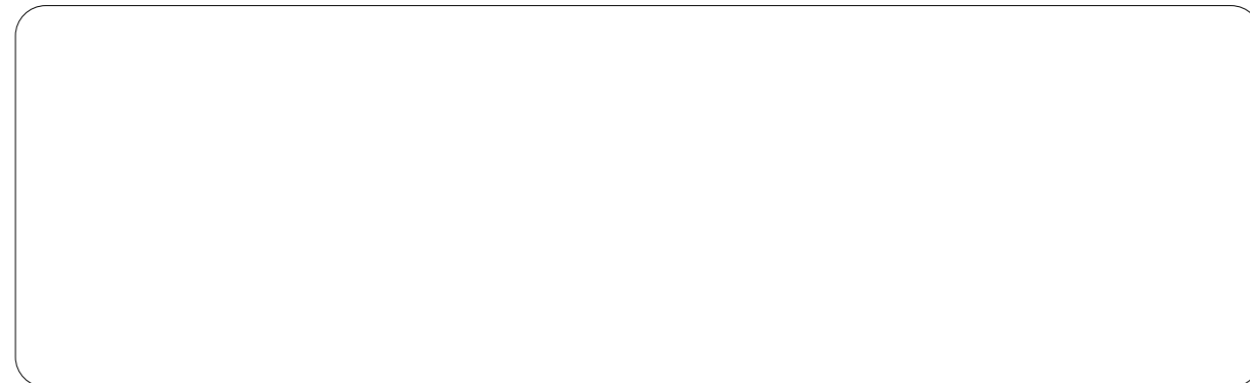
主要樹種の性質比較

物理的性質は無欠点試験片による試験の平均値で、木材工業ハンドブック(改定4版)より抜粋

樹種	気乾密度 (kg/m³)	曲げヤング係数 (kN/mm²)	曲げ強さ (N/mm²)	縦圧縮強さ (N/mm²)	せん断強さ (N/mm²)	心材の耐久性
カラマツ	500	10.0	80	45	8.0	中
スギ	380	7.5	65	35	6.0	中
ヒノキ	440	9.0	75	40	7.5	大
アカマツ	520	11.5	90	45	9.5	小



長野県産木材に関するお問い合わせは



信州木材認証製品センターは、県産材を広く一般の方々や工務店・建築士の方々に理解していただき、利用していただくために、県産材に関する情報提供をしています。また、県産材を品質の確かな製品として供給されるよう認証制度により認証活動を行っております。私たちは、長野県と協力・連携して県産材の家づくり、暮らしの小物などを、お届けしている団体です。

信州木材認証製品センター

事務局／長野県木材協同組合連合会
〒380-8567 長野市岡田町30-16 (長野県林業センター内)
TEL.026-226-1471 / FAX.026-228-0580
E-mail: spla-net@coral.ocn.ne.jp
https://shinshu-kiraku.net/



信州木材認証製品センター

長野県産木材なら、安心の認証製品をご利用ください。

信州木材認証製品とは？

長野県産のカラマツ、ヒノキ、スギ、アカマツなどを材料にした、柱、梁桁、壁板などの製品です。乾燥、寸法、そして品質などの厳しい基準をクリアしている製品です。



信頼のブランド 認証マーク
厳しい基準をクリアした製品にのみ許される信州木材認証製品の証です。

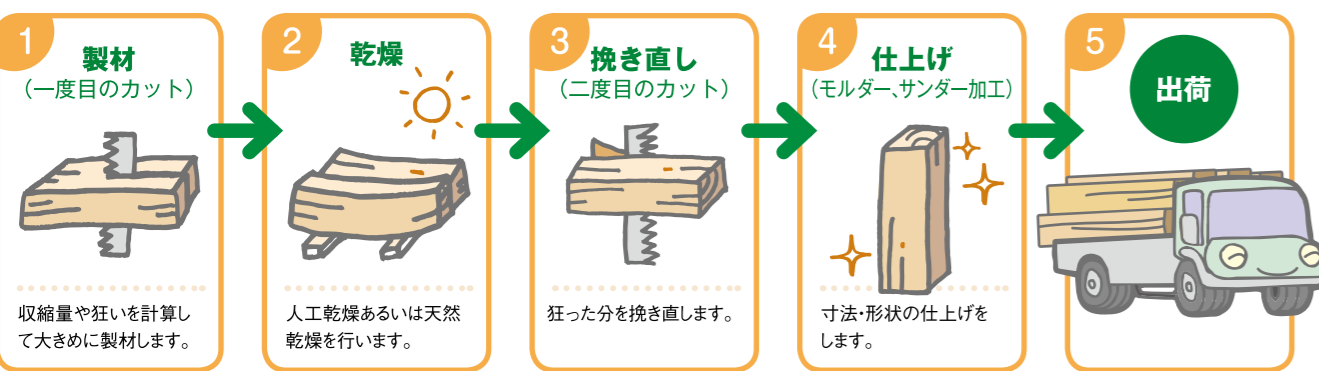
なぜ認証製品なの？

住宅の不具合の原因に、乾燥が不十分な木材を使用していることがあげられます。認証製品はすべて含水率が20%以下の乾燥材です。

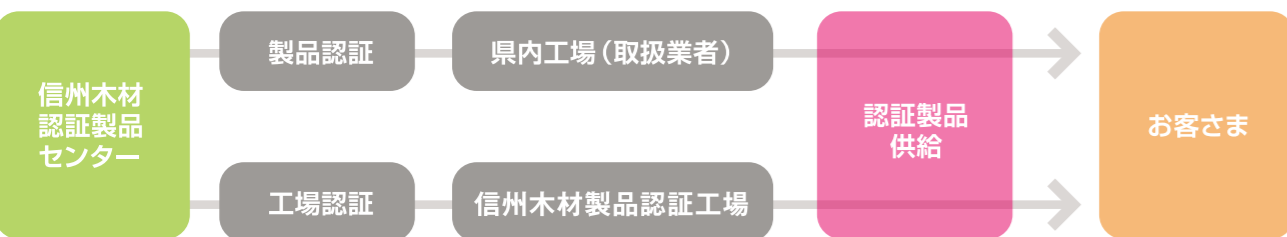
主な認証の基準

含水率	柱、梁などの構造材 敷居、鴨居などの造作材 壁板・フローリングなどの内装材と全ての集成材 接着重ね梁 下地材 デッキ材	20%以下（カラマツ、アカマツ芯持ち材は15%以下） 18%以下（カラマツ、アカマツ芯持ち材は15%以下） 10%±3% 構成エレメントが15%以下 20%以下 構造用デッキ材20%以下（カラマツ、アカマツ芯持ち材は15%以下） 板類のデッキ材12%±3%
等級	等級表示が無い場合 等級表示を行う場合 ●強度等級の表示方法	強度等級3級以上＝強度に影響ない程度の節有り 強度等級（1～3級または、E50～150など） (1) 1～3級 / 節の大きさを測定して区分する指標。人の目で確認して決める。 (2) E50～150 / 材の強さを「加重」と「たわみ」などの関係から導き出した指標（ヤング係数という）。 (3) 打撃式の機械などで決める。
寸法	仕上げ・粗仕上げなどで寸法を表示 (1) 仕上げ / 乾燥後挽き直し等の狂い修正処理及び、表面・寸法仕上げがなされたもの (2) 粗仕上げ / 乾燥後挽き直し等の狂い修正処理を行い、表面・寸法仕上げがなされていないもの	

認証製品の製造工程



認証製品供給の仕組み



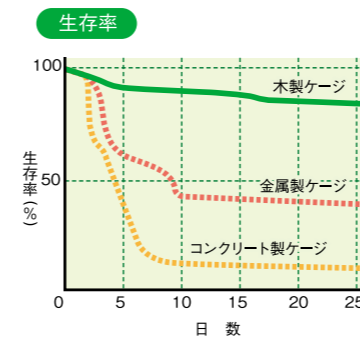
なぜ、長野県産木材がいの？

家が長持ちします「愛着のある家づくり」

何十年も地元長野県の気候で育ち、土地の気温や湿度、天候に適した木材に育っているのが長野の気候になじんで、輸入木材よりも家が長持ちします。

健康で快適に暮らせます「人に優しい家づくり」

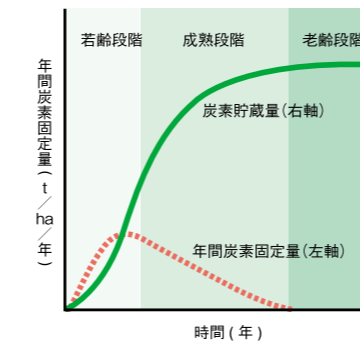
気候風土に適した県産材を使うことで、家族みんなが健康に過ごせる住宅を提供します。特別養護老人ホームでは木材が沢山使われている施設の方がインフルエンザやけが、不眠などの発生率が低いという調査結果がでました。高齢化社会では、人に優しい木の空間で暮らすことが、健康で長生きの秘訣かも知れません。



素材の異なるケージで飼育したマウスの生存率
実験では、木でできた飼育箱で飼ったマウスの方が、金属やコンクリートの飼育箱で飼ったマウスより長生きできるという結果がでています。

地球環境に優しい「温暖化防止に役立つ家づくり」

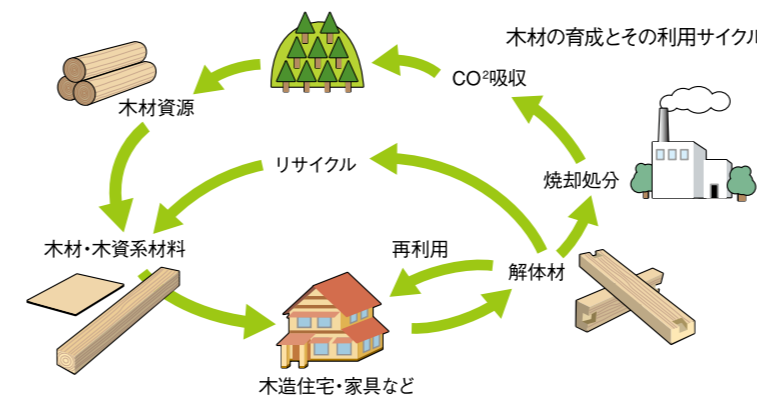
木は、住宅に木材として利用された後も「炭素」を貯蔵し続けるので、その貯蔵している「炭素」に匹敵する二酸化炭素を空気中から減らす効果が期待できます。つまり、住宅に木材を使用することは、町の中に森林を造成するのと同じ効果があるのです。



天然林の成長段階に応じた年間炭素固定量と炭素貯蔵量のモデル
木材は住宅として使われても、炭素を蓄え続けます。一般的な住宅では約6tもの炭素が蓄えられています。全住宅が蓄えている炭素の総量は、日本全ての森林が蓄えている炭素総量の約18%に相当すると試算されています

地域環境に優しい「森林資源の再生に役立つ家づくり」

県産木材を使わないと、森林整備が進まなかったり、間伐材が使われることなく捨てられることになり、結果として山や森が荒れてしまいます。県産木材が積極的に使われることによって森が元気に成長し、再生可能な資源として力を発揮してくれるのです。



地域の木材を使用することの地域貢献度について

【地域工務店による地域木造住宅の地域貢献度調査】

信州木材認証製品センターでは、国土交通省の補助事業（平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業）の採択を受け、地域木造住宅産業がいかにしたら活性化できるか、その糸口を探る「地域工務店が造る家の地域貢献度調査」を実施し報告書にまとめました。

本調査では、

①地域工務店が造る県産材住宅、②地域工務店が造る非県産材住宅、③ハウスメーカー住宅の3タイプ別に、地域（県内）で使われるお金の割合等を調査して、地域工務店が造る家の社会的な意義を考察しました。

その結果、住宅づくりの違いによる地域で使われるお金は、サンプル数は少ないですが、
①地域工務店が造る県産材住宅が約60%
②地域工務店が造る非県産材住宅が約45%
③ハウスメーカー住宅が約35%との結果が得られました。

2,000万円の住宅新築なら、地域に落ちるお金は、

- ①地域工務店が造る県産材住宅だと **1,200万円**
- ②地域工務店が造る非県産材住宅だと **900万円**
- ③ハウスメーカー住宅だと **600万円**

県産材を使用することにより、地域で使われるお金は2倍となる結果になりました。

◎右グラフ 地域（県内）業者の内訳



『長野県は全国3位の森林県』

長野県の森林面積は106万ha。全国でも北海道、岩手県に次ぐ森林県です。資源としては針葉樹が62%、広葉樹が38%、樹種ではカラマツが25%と最大を占め、カラマツ人工林は北海道に次ぐ面積を誇ります。戦後の積極的な造林の結果、森林資源は年々増加しています。

